

ティータイム

白保小創立130周年祝う

久高 克己



石垣市立白保小学校は、1890(明治23)年に創立し、130年の歴史を刻んだ。

私の記憶を60年前にタイムスリップさせると校内には枝葉を大きく広げるガジュマル、デイゴ、アコウの三本の大木が児童たちを包み、地域を見つめていた。

白保のシンボルカラーである黄色、伝統行事である豊年祭やお盆の獅子舞、生まれ年合同祝賀会など演じる大人たちに入り交じって必ず活躍する児童の雄姿がまぶたを閉じれば浮かんでくる。

その小学校は県内外各界各層の多方面に著名人を多数輩出してきた。その児童たちは地域のサポートを受けて、巣立っている。中には、プロ野球の福岡ソフトバンクホークスで大活躍している嘉弥真新也投手がいる。これからも勝ち続け、白保をアピールしてほしいと願う。

来る1月21日に創立130周年記念式典が予定されている。事業期成会会長や役員の方々に多大なる感謝をさせていただきます。

那覇空港から飛行機に乗れば、瞬く間にサンゴ礁と青い海に接したカラ岳のふもとに新石垣空港があり、ほんの数分で白保に直行できる。

在校生および教職員のみならず、コロナ禍を吹き飛ばして、これからも白保小学校ここにありと広く示すことを期待しています。

結びに白保節の一節「白保村 上なか 弥勤世は 給ほうられ」を歌う。
白保小学校創立130周年万歳。

(浦添市、70歳)